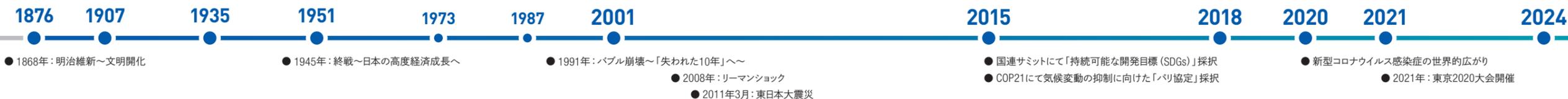


DNPグループの価値創造ストーリー

変革の軌跡

出版印刷業からP&Iイノベーションへビジネスモデルを変革



- 1876年：DNPの前身「秀英舎」創業
- 1907年：「日清印刷」創業
- 1935年：秀英舎と日清印刷が合併し大日本印刷発足
- 1951年：「再建5か年計画」始動、拡印刷を推進
- 1973年：米国ダネリー社を抜き、世界最大の総合印刷会社に
- 1987年：情報加工産業への変革を掲げる
- 2001年：「DNPグループ21世紀ビジョン」発表
- 2015年：「DNPグループビジョン2015」策定
- 2018年6月：北島義斉社長就任
- 2020年3月：「人権方針」策定
- 2020年3月：「環境ビジョン2050」策定
- 2021年4月：「健康宣言」を発する

出版印刷業

総合印刷業

情報加工産業～ 情報コミュニケーション産業

P&Iソリューション

P&Iイノベーション

多様な印刷プロセスを構築し、「P&I」(印刷と情報)の強みを進化
→印刷プロセスに立脚した技術体系の基盤を構築



1877 書籍「改正西国立志編」印刷



1945-49 民間企業として紙幣印刷の一部を担当

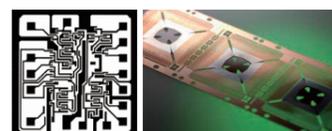
印刷技術の応用・発展で事業領域を拡大する「拡印刷」推進
→「第二の創業」を実現し世界で稀な「総合印刷業」へ



1951 紙器・軟包装分野、建材分野に進出



1958 ブラウン管用シャドウマスクの開発に成功し、カラーテレビの国産化に貢献



1959 トランジスタ用蒸着マスク開発(左) ▶半導体用フォトマスクの事業拡大へ

1964 リードフレーム製造開始(右)

1964 東京オリンピックの印刷物担当
1970 大阪万博でパビリオン9館の出展企画を受託
▶企画関連の事業を拡大

モノづくり&サービス、アナログ&デジタル、リアル&バーチャルなど、DNPならではのハイブリッドな強みの深化で事業を拡大



1972 コンピューター組版システム(CTS)本格始動(左)
1983 ICカードを開発(右)：国内初の書き換え可能ICカードを実用化
▶国内トップシェアの獲得へ
1985 世界初のCD-ROM版電子辞典を開発

1985 昇華型熱転写記録材を開発～生産開始：プリントシール機の普及等により事業を拡大
▶世界トップシェアの獲得へ

1985 液晶カラーフィルター生産技術を開発

1996 独自のEBコーティングによる各種シートの生産を開始

1997 PETボトルのインライン無菌充填システムを開発

1997 ディスプレイ用反射防止フィルムの本格生産開始
▶世界トップシェアの獲得へ

1999 リチウムイオン電池用バッテリーパウチを製品化
▶世界トップシェアの獲得へ

DNP自身が直接社会や生活者に向き合い、社会課題を解決し、期待・ニーズに応える価値を提供する「第三の創業」の実現へ

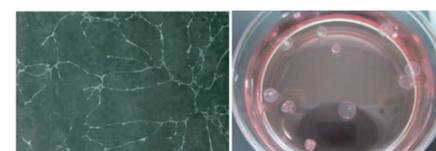
地球環境や人々の健康などに配慮した各種製品・サービスを展開



「DNP環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING®」の展開(上)、抗菌・抗ウイルス製品のラインアップの充実(下)、低反射フェイスシールドや低反射フィルムパーティション等の開発・販売など



※SIAAマークはISO 22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されます。



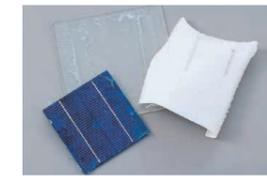
2004 毛細血管パターン作製の成功(左)
2017 「ミニ腸」の研究開発に成功(右) ▶再生医療分野の事業へ



2018 東京大学と共同で、伸縮自在な薄型ディスプレイを開発：皮膚に貼れるスキンエレクトロニクス



2014 電源無しで内部を長時間一定の温度に保つ「DNP多機能断熱ボックス」を開発
2019 ▶第28回地球環境大賞の「大賞」を受賞



2003 太陽電池用部材を開発
2024 ▶両面採光型太陽電池モジュールの発電量を向上させるシートを提供開始



2017 曲面樹脂ガラスを開発：サンルーフ等に用いて自動車の車体を軽量化